



水・森・いのちを守る

ラブリーアース Japan

ホーム

ラブリーアースJapan
について

ラブリーアースの去

活動報告

ご案内

去のひとり言

散歩道

ひろば

関連リンク

お問い合わせ

森のひとり言

森の専門家
北岡明彦さんの
コーナーです



お知らせ

- 2017-12-01 活動報告を更新しました
名城大学農学部生物環境科学科の相生山緑地実習
- 2017-11-19 ご案内を更新しました
緑地創作障害集-12月
相生山の四季を歩く会-12月
- 2017-11-18 ひろばを更新しました
相生山の四季を歩く会-11月
- 2017-11-01 森のひとり言を更新しました
その容百七:日本の森林は素晴らしい



間伐中の山林のようす 2017.12.2

「何してるんですか？」の答え

1. 相生山の四季を歩く会
自然観察と名古屋市への提言
2. 道路→世界の「AIOIYAMA」公園
「自然を大事にする」進みぐあい
3. 岐阜県七宗町で
手遅れヒノキ人工林を間伐して
自然の山に還す ころもみ





名古屋市菅田南部土地区画整理組合事業完成 記念



昭和22年撮影

1947年



昭和58年 5月撮影

1983年

2017年2月23日

平成 26 年 12 月 26 日

相生山について

名古屋市長 河村たかし

以下の考えに基づき、速やかに名古屋市都市計画審議会に諮問し、ご審議頂く。

1. 弥富相生山線の道路事業は廃止する。
2. 近隣住宅地への通過自動車の入り込みについては、住民の安全のため、例えば、近隣住民には通行許可証を発行して住民の自動車通行を確保しつつ一部区間の道路を通行止にするなど、住民にとって最も使いやすい措置を愛知県公安委員会・警察に要請する。
3. 相生山緑地は、
 - (1) 道路部分を含めて都市公園及び緑地として都市計画決定し、例えば、世界から「AIOIYAMA」と呼ばれるような名古屋の新しい名所となる公園として整備する。
 - (2) 建設済みの道路部分は壊すことなく、公園施設として活用する(※1)。
 - (3) 子どものキャンプ場や障がい者のリハビリや活動の場として活用できる「ユニバーサルデザイン都市公園(※2)」として整備する。
ただし、都市公園の管理のため、公園内に一車線相当の「園路」を設けて下山畑口から相生口までつなげ、救急車などの緊急車両は通行できるようにする。

※1「建設済み道路の公園施設としての活用」

名古屋市が推進する「みちまちづくり」やニューヨークの「ハイレン公園」の考え方を活かし、建設済みの道路上にキャンプ場や遊歩道などをつくる。

※2「ユニバーサルデザイン都市公園」

障がい者を含めてだれでもが利用しやすいように設計されている(ユニバーサル)都市公園のこと。

平成20年1月に国土交通省から「都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン」が出されている。

名古屋市長 河村たかし様

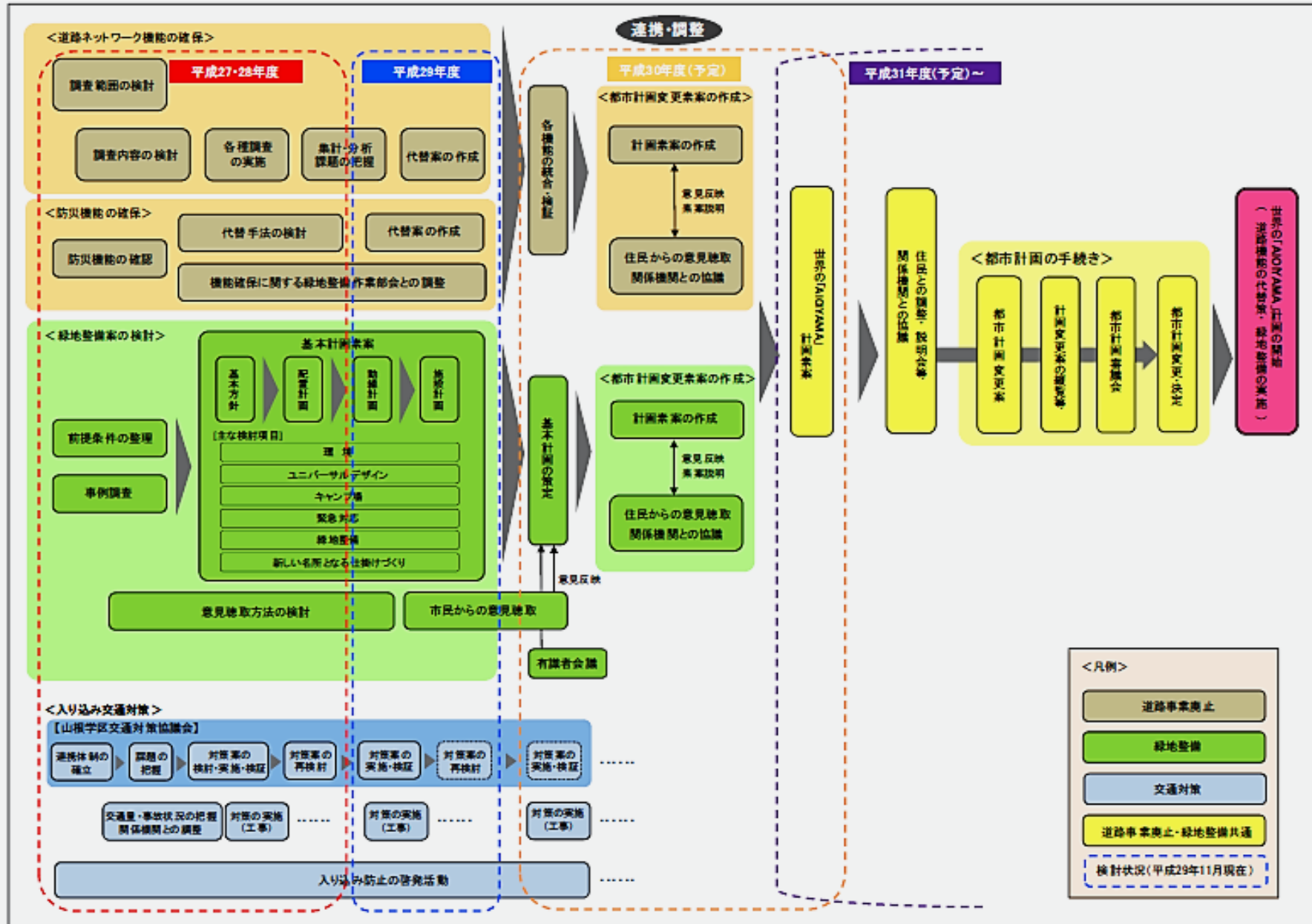
相生山の四季を歩く会事務局 田中眞理
ラブリーアースJapan 事務局 古川善嗣
名古屋市南区豊4-22-10 tell /fax052-821-6463

相生山緑地を「自然を大事に」して「世界のAIOIYAMA」とするための提案書

1. 来年(平成29年)度予算について。
道路事業廃止のための作業が進められていると認識しています。土木交通委員会でも意見があったように、道路に供するための構築物や構造物などへの維持管理等の予算は不必要であると考えます。よろしく精査、検討下さい。
2. 市民への説明・意見聴取について。
市長の英断を支持するものです。しかし、「世界のAIOIYAMA」は、地元など相生山緑地に関わる人びとのみならず、広範な市民や、全国から注目する、より多くの人びとの理解や支持を得て初めて、実現する力を得ると考えます。
市長の現任期中に「相生山」での実践結果を広く示す意味からも、市民の声を聞くことをも含めた「経過説明会」の設定を提案します。
3. 長期未整備公園緑地の事業着手に関連して。
市の「緑の基本計画2020」や「長期未整備公園緑地の都市計画の見直しの方針と整備プログラム」が示され、平成29年度末までの第1期事業着手が公表されています。
相生山緑地内の土地所有者や周辺地域の人びとの意識調査を一部試みましたが、市の方針とは乖離があり、「名古屋市に願いは届いていない」との声が多く聞かれました。
「世界のAIOIYAMA」を目指す上で、この面での課題克服は必須であると考えます。
前項と合わせて、市民への、さらなる説明や意見聴取の機会が必要と思われます。
4. 「自然を大事に」の基本姿勢について。
自然は、相生山の森(樹林地)は、そこに存在しているだけで意味があると考えます。
人が利用しようとしまいと、人の利益になるかならないか、に関係なく、なぜなら、ヒトは自然(森)の中から生まれ、自然の中にある「いのち」をいただいて初めて生存し続けることが出来ているから。子どもたちは、自然(森)の「たくさんのさまざまないのち」を感じて、いきいきと成長していきます。
自然(森)をどう利用するか、などという小さな話にとどまらず、「自然とともに生きていく名古屋市政の在り方」を未来に発することを求めます。

世界の「AIOIYAMA」プロジェクト事業検討フロー(平成29年11月現在)

資料1



2017年6月6日

名古屋市長 河村たかし様

エコミュージアム愛知 代表 高岡立明
相生山の四季を歩く会 事務局 田中眞理
ラブリーアース Japan 事務局 古川善嗣
名古屋市南区豊 4-22-10 tell/fax 052-821-6463

相生山の生態系を維持するための提案書

1. 「緑地整備案の検討」において、生態系維持のためのシステム（体系、しくみ、ルール、組織など）づくりを基本計画の優先課題とすること。

たとえばヒメボタルの時季、相生山緑地を訪れる人は宵から明け方まで、今年も週末には数百人規模に達しました。人々が自然への関心を深める良い機会である反面、森の生きものたちには多大なストレスを与えていると推測されます。

市道「弥富－相生山線」建設は中止になりましたが、生態系への脅威は増加し続けています。しかし、これまでの資料や会議記録には、こうしたことの記述はありません。「これからは自然を大事に」の市長判断に基づき、早急な対応が望まれます。

生態系が壊されている具体的事例をいくつか列記します。

(1) 緑地全域でのヒメボタルの数は20年前に比べて明らかに減少しています。人的要因と思われます。さらに、最近の撮影目当ての入り込みはオーバーユース状態にあり、その影響が懸念されます。

(2) この1～2年に限っても、ムベ・アマヅル・カラタチバナの3種が消失し、シュンランは激減しています。ムベとシュンランは盗掘によるもの、アマヅルは散策路の付け替えによるものと推察されます。

(3) 散策路沿いのクロミノニシゴリは何度もくり返し伐採されています。樹種も分からぬままに、あちこちで木を伐り続けている人びとがいます。

(4) 人の踏み込みによって散策路幅が広がったり、新しい「道」がつくられたりしています。

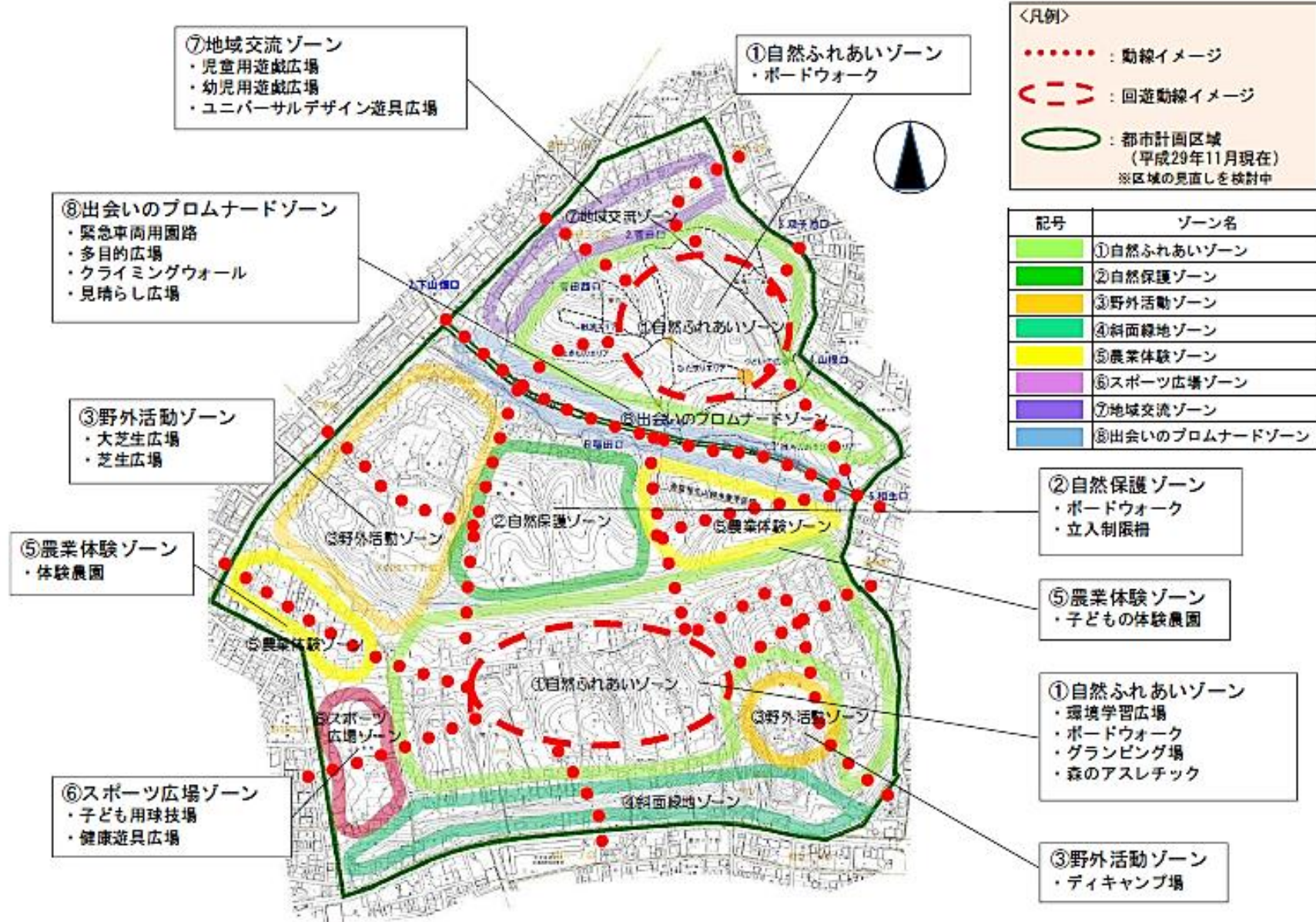
2. 生態系をこれ以上壊さないため、至急対策が必要です。前項のシステムができるまでの暫定的措置として、公報やマスコミなどを通じて市民に協力を呼びかける、巡回体制を強化する、場合によっては立ち入り制限するなど有効な手立てをとること。

世界の「A I O I YAMA」を実現するには、避けては通れない課題に対する提案です。ご検討をお願いいたします。

以上

ゾーニング及び主要施設・動線の概要について

資料3



before — after



間伐前 2013年12月20日



間伐直後 2014年3月15日

森林の比較



自然林

放置人工林

間伐済み区域



3年8か月後 2017年11月15日

胸高直径 +1.5~2.0cm